

# CS だより

第7号 令和5年12月

浜松市立積志中学校  
CSコーディネーター  
岡本 知之  
CSディレクター  
北寒寺 知子

## 【第3回学校運営協議会が開催されました】

11月20日（月）に第3回学校運営協議会が開催されました。協議会では、10月より行っている「休日の部活動指導に参加可能な人材の調査」の中間報告を受け、今後の部活動について活発な意見交換が行われました。また、地域防災訓練を話題にしながら、地域における中学生の役割についての意見交換も行われました。



## 【休日の部活動指導に参加可能な人材の調査について（中間報告）】

10月から地域住民、保護者を対象に「休日の部活動指導に参加可能な人材の調査」を行っています。その調査結果について中間報告が行われました。現時点で、休日の部活動指導に参加することが可能であると回答してくれた方は8名でした。調査の中間報告を基に行われた話し合いの中で、委員の方々からは以下のような意見、感想が出ました。

- 寄せられた回答を見ると、指導できる種目が限られており、積志中学校にあるすべての部活動の指導者をこの地域から見つけ出すのはなかなか難しいのかもしれない。
- 休日の部活動指導が学校の手から離れ、地域にすべて任されてしまうのは、実際に指導に当たる方への負担が大きすぎるので、ハードルはかなり高い。
- 部活動指導に関われそうな層の人が回覧板を見ていないなど、今回の調査について十分な周知が図られていない可能性が高い。地域には部活動指導ができる人材がまだまだ隠れているかもしれないので、部活動指導ができる地域人材を探しているということを継続的に広報していくことが必要である。
- 長期的な視点で指導者を発掘し、部活動を指導できる人たちの人材バンクをつくりたい。
- 積志地区にあるスポーツ団体（スポーツ少年団など）に声をかけ、指導者を確保していくという方法もあるのではないか。
- 近隣の学校で調整し、部活動の統廃合を行い、中学生が学区を越えて活動できるような体制にしていくのはどうか。そうすれば、そこに専門的な指導ができる教員も配置したり、部活動指導ができる地域人材を確保したりすることが容易になるのではないか。また、生徒の人数が少なくて思うような活動ができないという問題も解消できる。今までのように、どこの学校にもあらゆる種目の部活動があるというのは現実問題として難しいので、地域移行と併せて新しい部活動の形を考えていくことも必要ではないか。

部活動の地域移行には、クリアすべき課題が多いです。その中でも、指導者の確保が大きな課題だと考えています。休日の部活動指導ができる人材を探しているということを地域に継続的に広報していきたいと思います。

◎今回の学校運営協議会の議事の詳細につきましては、積志中学校のホームページで議事録を公開しておりますので、ぜひご覧ください。